

阪神上水道調査報告書

緒論

本調査ノ地域ハ大阪神戸ノ二大商工業都市間ニ在スル所謂阪神地方ノ内ソノ兵庫県ニ属スル地域ナリトス。其東西七里ニシテ南ハ大阪湾ニ面ス。地勢ハ東西其趣ヲ異ニシ東半部ハ広濶ナル平野ヲナシ武庫、猪名ノ両川北ヨリ南ニ向ツテ緩流ス。西半部ハ北ニ六甲ノ高峰ヲ負ヒテ丘陵ヲナシ、次第二緩傾斜ノ平衍地トナリテ南海浜ニ迫リ芦屋、住吉ノ二溪流ハ此地ヲ貫流シテ海ニ注グ。緑樹地帯ハ到ル所ニ点在シ大気清澄寒暖其宜シキヲ得、風物常ニ快適ス。

然ルニ近代文化ノ進展ト産業ノ勃興ハ此地ヲシテ永ク其旧態ニ居ラシメズ。道路軌道ハ四通八達シテ益々阪神両都市トノ接触交渉ヲ繁クシ両都市繁栄ノ影響ヲ受クルコト頗ル大ナリ。即チ尼ヶ崎市、西宮市等ノ発展ハ云フニ及バス、阪神両都市ノ止ムコトナキ膨張ハ其余勢ヲ当地方ノ到ル所ニ伸シ来リ工場商舗ハ日々其数ヲ増シ加フルニ交通機関ノ発達ニ伴ヒ両都市ノ資産階級並ニ勤勞階級ノ移住シ来ルモノ益々其多キヲ加ヘ遂ニ工場地帯、商店街、住宅街等隨所ニ出現スルノ情勢トナレリ。一方当地方ハ曩ニ神戸、西宮及尼ヶ崎ノ三都市計画区域ニ編入セラレ爾來近代都市の施設ハ着々トシテ施行セラレツ、アリ。

然ルニ翻ツテ其上水道ニ就テ見ルニ僅カニ西宮、尼ヶ崎ノ二市及小田、大社ノ両村ニソノ施設アルニ過ギズ其他ノ多数ノ町村ニ至リテハ何レモ原始的の井戸ヲ用ヒテ其飲料水ヲ得ツ、アリ。従ツテ或ヒハ其水質ノ不良ニ苦シミ或ヒハ其水量ノ乏シキニ悩ムノ情態ニアリ。之ヲ衛生ノ上ヨリ見ルモ、又之ヲ保安ノ上ヨリ見ルモ、更ニ又之ヲ地方開発ノ上ヨリ見ルモ蓋シ上水道ノ施設ハ当地方ノ急務ナリト謂フベシ。

惟フニ当地方ハソノ水源ヲ得ルニ難ク従ツテ各町村個々ニ此施設ヲナスハ容易ノ業ニアラズ。然ラバ組合ヲ組織シテ協同的の経営ヲナサムカ町村各々其事情ヲ異ニスルテフ困難アリ。之当地方ニ此施設ノ普及セザリシ所以ナルベシ。県ハ茲ニ鑑ミル所アリ県営ヲ以テ其施設ヲ行ヒ一ハ以テ此窮状ヲ救ヒ一ハ以テ当地方ノ開発ニ資セムトスルノ見地ヲ以テ阪神上水道ノ計画ヲ立テムトス。之茲ニ本調査ヲ行フ所以ナリ。

而シテ上ニ述ベタルガ如ク尼ヶ崎、西宮ノ両市並ニ小田、大社ノ二村ハ既ニ上水道ノ施設ヲ有スト雖モ何レモ数年ヲ出デズシテ其拡張ヲ要スルノ情態ニアリ。故ニ本調査ニ於テハ同時ニ之等ニ給水スルノ方針ヲ以テ調査ヲ進メタルニ後章ニ述ブルガ如ク西宮市並ニ大社村ハ各容易ニ自給シ得ルノ結論ニ達シタルヲ以テ之ヲ給水区域ヨリ除外セリ。

神戸市ノ上水道施設モ亦同様数年ヲ出デズシテ其拡張ヲ要スルノ情況ニアルヲ以テ当初之ニ対シテモ給水スルノ方針ヲ以テ其調査ノ歩ヲ進メ来リ稍其成案ヲ得ルニ垂ントシテ邊ニ之ヲ除外セリ。

蓋シ同市ハソノ独自ノ見解ノ下ニ自給自足ノ方針ヲ以テソノ調査ヲ遂ゲ新ニ武庫川ノ支流青野川ニ水源ヲ求メ大貯水池ニヨリテ大神戸市百年ノ水源タラシムルノ計画ヲタテタルヲ以テナリ。

東部

園田村、小田村、尼ヶ崎市、立花村、武庫村、大庄村、瓦木村、鳴尾村、今津村、芝村

西部（精道村、本庄村、本山村、魚崎村、住吉村、御影町）以下、章ヲ追ツテ詳述スル所アラムトス。

尚武庫川伏流ノ調査ニ関シテハ与ヘラレタル期間内ニ其時期ヲ得ザリシハ遺憾トスル所ナリ。故ニ今後適當ノ時期ヲ得テ之ヲ調査シ更ニ報告スル所アラムトス。

（中略）

第四編 阪神上水道計画案

第一章 概説

茲ニ本調査ノ結論トシテ本計画案ヲ樹テタリ。

既ニ述ベタルガ如ク西宮市並ニ大社村ニ於テハ現在既ニ上水道ノ施設ヲ有シ而モ豊富ニシテ有利ナル水源ヲ擁シ将来コノ水源ニヨリテ自給自足シ得ベキ見込充分ナルヲ以テ本計画ニ於テハ当然西宮市並ニ大社村ヲ給水区域ヨリ除外セラルモノトス。然ラバ全給水区域ハ右除外地域ニヨリテ自然ニ東西ニ地方ニ兩分セラル。即チ

東部地方 尼ヶ崎、小田村、園田村、立花村、大庄村、
（千市町村） 武庫村、瓦木村、鳴尾村、芝村、今津村

西部地方 御影町、住吉村、魚崎町、本山村、大庄村、
（六ヶ町村） 精道村

右ニ地方ハ其地勢ニ於テ各全ク其趣キヲ異ニス。東部地方ハ一帯ニ低ク且ツ平坦ナレドモ西部地方ハ之ニ反シ其北部ハ高層ニシテ漸次南ニ向ツテ低ク高層中層低層ノ段階ヲナス。

斯クノ如ク位地並ニ地勢ヲ異ニスル東西両地方ニ対シ同一ノ水源ト同一ノ送水系統ヲ以テ給水スルコトハ經濟上有利ナラズ。本計画ニ於テハ東部地方ニ対シテハ淀川ヲ水源トナシ、西部地方ニ対シテハソノ第一期ニ於テ芦屋川並ニ住吉川ノ水ヲ使用スルヲ最モ有利トスルノ結論ヲ得タリ。

之ニ依レバ東部地方ハ淀川テフ永遠ノ水源ヲ有シ将来ニ対シ何等ノ不安ナルコトナシ。西部地方ノ水源タル芦屋川並ニ住吉川ハ共ニ其水量多カラズ僅カニ第一期（略昭和二十二年末ヲ目標トス）ノ給水量ヲ支フルニ過ギズ。然レドモ右水源ハ標高一八〇米ノ高所ニ存シ尚ホ区域ノ如ク自然ニ高層中層低層ノ段階ヲナセル地区ニ対スル水源トシテハ極

三第四、一六〇号

稟請書

メテ適當ノモノナルヲ失ハズ。殊ニ将来第二期以後ノ拡張ニ際シテハ右両川ノ水ハ主トシテ之ヲ高層地区ノ供給用トナシ低層地区ニ対シテ新水源ニヨル水ヲ供給スルコト、セバ水圧關係並ニ送水動力ノ關係ニ於テ極メテ經濟的ナルガ故ニ右両川ハ此ノ地域ノ水源トシテ第一期ニ於テノミナラズ将来永久ニ極メテ重要ナル水源タルベシ。然ラバ西部地方第二期以降ノ水源ヲ何レニ求ムベキヤ。之レ当然ノ疑問ナルベシ。然レドモ之ニ関シテ吾人ハ極メテ樂觀スルモノナリ。即チ当区域ハ其大部ガ神戸市都市計画区域ニ屬シ将来神戸市ノ發展ニ伴ヒ当然同市ニ編入セラルベキ運命ニアリ。而シテ神戸市ハ目下其上水道拡張ノ計画ヲ進メ水源ヲ武庫川上流青野川ニ求メ大貯水池ヲ設ケ将来所謂大神戸市百年ノ水源タラシメムトセリ。即チ該計画ハ謂フマデモナク其水量ニ於テ神戸市現在ノ行政区域内ハ勿論其都市計画区域タル当西部地方ニ対シ供給スルニ充分ノ量ヲ用意スルモノナルハ当然ノコトニシテ即チ当地方第二期以降ノ給水ニ対シ樂觀スル所以ナリトス。

勿論当地方ガ神戸市ニ編入セラルベキ時期如何ハ偏ニ将来ノ事情ニヨルモノニシテ今遽ニ予断ヲ許サザルベシ。然レドモ仮ニ当地方ノ前記水源ガ給水能力極限ニ達シタル時期ニ於テ猶神戸市ニ編入セラル、ニ至ラズトスルモ神戸市ガ上述ノ如ク市ニ編入後ノ当地方ノ為ニ用意セル水ハ容易ニ之ヲ当地方ニ使用スルノ方法ヲ得ベシ。之レ単ニ当地方ノ為ノミナラズ当時多量ノ剩木ヲ擁スル筈ナル神戸市ニ取リテモ有利ナル方策タルベキナリ。

(以下省略)

○謄写版印刷。附図第一号は省略。

三第四、一六〇号

稟請書

一、今回阪神間ニ於テ上水道計画ノ下ニ本郡ヲ貫流セル武庫川上流青野川ヲ堰キ止メ水源トナスベキ予定ニテ歩ヲ進メラレツ、アル由承知致シ候之レガ下流二位セル当三田町ノ如キハ灌溉用水上殊ニ当町ノ生命トスル飲料水上絶大ノ關係ヲ有スルヲ以テ其ノ結果ヲ想像シ寒心ニ堪エザル次第二御座候由来当町ハ飲料水ニ乏シク加フルニ水質悪シク飲料ニ適スルモノ極メテ少ナク僅カニ貫流セル武庫川水ヲ引用シ以テ漸ク生存セル実状ニ御座候

二、右ノ故ヲ以テ町当局ハ深ク之レヲ憂ヒ十数年以前ヨリ上水道実現ニ向ツテ邁進シ現ニ目下出願中ニ有之候然ルニ水源地ニ於テ蹉跌ヲ来タシ憂慮致シ居リ候

三、然ル処本年九月阪神間上水道委員長ノ報告ヲ見ルニ灌溉關係地区ニ対シ毎年六月一日現在ニ於テ青野川貯水池ニ総量二一〇、八一六、〇〇〇立方尺ノ水量ヲ貯溜シ置キ次后九月末日迄ノ間隨時下流ノ要求ニ従ヒ其指定スル日時ニ於テ指定スル数量ヲ放流スルコト但毎秒ノ放水量最大六〇立方尺トス右ニヨリテ灌溉ニ対スル憂ハ除却サレタルノ感ヲ覚エ候

四、然ル二十月一日ヨリ翌年五月三十一日迄即チ当地方ニ於テ雨量ノ最モ少ナキ時期ニ於テ全ク堰キ止メラル、トセバ其及ボス所ノ影響果シテ如何実ニ深憂措ク能ハザル所ナレバ何卒三田町及三輪町ノ一部(三田駅前附近)ニ対シ数個ノ分水方特ニ御高配相煩ハシ以テ永年ノ苦衷ヲ脱セントスル次第二御座候

右謹テ稟請候也

昭和十年十一月十八日

有馬郡三田町長 辻井吉之介印

兵庫縣知事 湯沢三千男殿

○三田町役場の罫紙を使用。

昭和十年 阪神水道企業団所蔵

青野川貯水池築造二関シ陳情

今般県営又ハ神戸市営ヲ以テ阪神水道ヲ計画実施セラル、趣仄聞仕候而シテ其ノ水源ハ一ハ淀川ヨリ導水シ一ハ武庫川上流青野川ニ水源池ヲ設置セラル、趣ニ有之候処青野川下流ニ於テハ数千町歩ニ渉ル灌漑用樋門並ニ西宮市上水水源池等有之數年前神戸市千苅水源池設置以來逐年灌漑用水不足ノ為メ多大ノ損害ヲ蒙リツ、アリ而モ同水源池設置ノ際ノ認可条件トシテ下流灌漑用水トシテ六月ヨリ九月迄四ヶ月間ハ四十箇ノ水量ヲ放流スベキコト、ナリ居レルニ拘ラズ稍モスレバ其ノ義務ノ履行ヲ怠ル嫌有之為ニ下流農民ハ例年困窮ヲ極メ旱魃ニ際シテハ水田ハ亀裂シ水稻ノ枯死スルモノハ広範圍ニ亘リ甚大ナル損害ヲ蒙リツ、アルノ実情ニ有之候此際又々上流青野川ニ水源池ヲ設置セラル、コトハ下流灌漑ニ徹底的ノ打撃ヲ与フルモノト謂フベク下流農民ノ断ジテ忍ビ得ザル所ニ有之目下邦家非常時局ニ際会シ農村窮迫ノ折柄思想上ニ与フル影響モ亦尠カラズト存候都市ニ上水道施設ノ必要ナルハ今更言ヲ俟タザル所ナルモ青野川水源ハ前述ノ如ク沿線ノ死活問題ニ有之冀クバ閣下右ノ事情御賢察ノ上阪神水道ノ水源ハ水量ノ豊富ナル淀川ヨリ導水シ青野川水源池ハ絶対ニ築造セザル様特別ノ御垂配相仰度以連署此段陳情仕候也

昭和十年六月 日

- 西宮市長 蔭山品次郎
- 鳴尾村長 浜圭蔵
- 大庄村長 森平次郎
- 立花村長 三松武次郎
- 稲野村長 梶本栄次郎
- 武庫村長 田近勇蔵
- 瓦木村長 小西治左衛門
- 甲東村長 橘峰太郎
- 良元村長 馬殿貞次
- 小浜村長 中野半次郎
- 尼崎市市長 有吉実

兵庫県知事 湯沢三千男殿

154 【青野川・黒川合流点付近に上水水源池設置につき中野村意見書】 昭和十二年

広野地区 上青野区所蔵

中通第四七号

意見書

阪神上水道市町村組合ヨリ青野川、黒川合流点附近ニ堰堤ヲ設ケ上水道水源池設置ニシ堰堤新築、河川工作物新築、河川敷地占用及河水引用願出候処本件ハ昭和十一年十一月十九日付ヲ以テ兵庫県知事及阪神上水道市町村組合管理者ニ対シ村会決議書写添付陳情シ置キ候通水源池設置ニ対シテハ反対ナリ 依テ他ニ適當ノ地ヲ撰択セシメラレタシ本村ノ反対アルニ拘ラズ強ヒテ設置許可セラル、場合ハ本村トシテ其ノ影響スル所極テ甚大ナルモノ有之候条左ノ各項ノ条件ヲ附シ許可セラレ度候也

昭和十二年六月七日

有馬郡中野村長 吉田栄太郎

兵庫県知事 岡田周造殿

記

- 一 水源池設置ニ依リ村、村農会及関係部落等ノ蒙ムル財源ノ減損ヲ補償シ将来村民ノ担ヲ絶体ニ重カラシメザルコト
- 二 直接、間接ヲ問ハズ利害関係者ノ生活安定ヲ保証スルコト
 - 浸水地関係住民ニシテ其ノ生業ヲ失フ者及収入ノ減損スル者等ニ対シテハ之ガ代償提供シテ生活ノ安定ヲ保証スルコト
- 三 設計書ノ内容如何ニ不拘水源池設置ニ伴フ水利並ニ交通ニ関シテハ村及部落ノ要求応ジ支障ナカラシムルコト
 - 灌漑用水ハ下層ヨリ放水セズ上層水ヲ放流スルコト
 - 貯水ノ為水源地上流ノ治水ニ関シテハ万全ノ策ヲ構ズルコト
- 四 堰堤下流ヨリ武庫川合流点迄ノ間ハ水害除去ノ為堤塘補強工事ヲ施行スルコト
 - 万一堰堤及堤塘決潰ノ場合ハ其ノ原因ノ如何ヲ問ハズ被害ノ一切ヲ補償スルコト
- 五 官有地ニシテ従来村及部落又ハ個人ニ於テ維持管理セルモノニ対シテハ相当補償スルコト
- 六 神社、仏閣、墓地等敬神崇祖ノ中心タルモノニ変更ヲ加フルニ当リテハ特ニ深甚ノ慮ヲ払ヒテ慰安ノ途ヲ構ズルコト
- 七 中野村所属水源池ノ漁業権並水面使用権ヲ村及部落ニ無償付与スルコト
- 八 水源池設置ノタメ営造物ノ新設又ハ変更ヲ要スル場合ハ村及部落ノ要求通組合ノ経ヲ以テ之ヲ為スコト
- 九 導水管敷設ニ際シテハ勉メテ耕地ヲ減ゼズ耕作ニ支障ナラシムル様顧慮スルコト
- 一〇 其ノ他細部ニ関シテハ村及部落ノ希望ニ副フコト

○傍訓は原文のまま

以上